

## 青葉区小学校児童音楽会(3年)

## 仲間とかがやく

11月10日(金)、青葉区の音楽会に3年生の有志57名が学校の代表として参加しました。9月から「終わらない歌(リコーダー)」「ハックルベリーの瞳(合唱)」の2曲を学年全員で取り組み始め、音楽会に出る児童は10月から週2回の朝練習を行ってきました。朝練習や音楽の授業では、リコーダーの息の入れ方や発声の仕方など、学年全体でより美しい音色を奏でられるように学習してきました。当日は、独特の空気感に緊張している様子でしたが、一人ひとりが自分の出番までに気持ちを整え、これまでの練習の成果を発揮しようと一生懸命に歌いました。演奏後、拍手をもらって座席に戻った子どもたちは、やりきった達成感と安堵の表情を浮かべていました。

11月23日(木)勤労感謝の日には、あざみ野中学校で行われた、「あざみ野音楽祭」に参加しました。18人と少ない人数でしたが、堂々と歌い、美しい音色を奏でました。また、地域で活躍する団体の音楽にも触れ、音楽の良さを感じることができました。



音楽会当日の全校発表

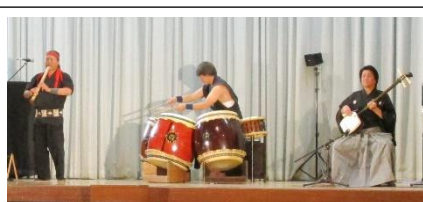


あざみ野音楽祭の様子

## 芸術鑑賞会 邦楽ユニット～澤田組～

11月17日(金)、生の芸術にふれ心を豊かにすることを目的に、芸術鑑賞会を行いました。今年度は、「津軽三味線」「尺八」「和太鼓」の演奏家をお招きしました。

演奏が始まると、和太鼓の迫力に飛び上がったり、尺八の独特な音色を味わったり、津軽三味線の音が体育館に反響して背中側からも聞こえることを不思議がったりしながら聴きました。途中の津軽三味線クイズでは、犬の皮や象牙、亀の甲羅が使われていることを知って驚いていました。和太鼓体験をした児童は、「たたいた時に手に伝わってくる振動がすごかった!」と満足気でした。



尺八、和太鼓、津軽三味線の演奏を聴きました

日ごろ接する機会の少ない楽器の生演奏を聴き、プロの演奏の気迫を感じたり、日本で昔から弾き継がれてきた楽器に親しんだりすることができたようです。

日ごろ接する機会の少ない楽器の生演奏を聴き、プロの演奏の気迫を感じたり、日本で昔から弾き継がれてきた楽器に親しんだりすることができたようです。

## 和楽器とふれあう



太鼓をたたくまねをし  
ながら聴きました!



尺八の演奏をすく近く  
で見るのができました

## 「授業についてのアンケート」結果報告

10月の授業参観の折にご協力いただいた「授業に関するアンケート」の集計結果をお知らせします。お忙しい中回答していただき、本当にありがとうございました。(アンケート総数166)職員一同、よりよい授業を目指して、取り組んでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

設 問	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	思わない
子どもたちが興味・関心をもてる授業でしたか。	144	22	0	0
子どもたちが本日の学習内容を理解し、進んで取り組める授業でしたか。	138	27	1	0
子どもたちは、友達と関わり合いながら学習を進めていましたか。	142	23	1	0

### 自由記述欄より

- ・学年が上がるにつれ、様々なトラブルが増えてくると思うので「ごめんなさい」「ありがとう」をテーマにした授業はとてもよかったと思います。
- ・「子どもたちにとって身近なテーマで問題を投げかけ、考えさせ、言うべきことは伝える」という大人でも考えさせられる内容でした。